

4.施策毎の評価指標(案)

本計画においては、計画の評価指標及び目標値を設定し、達成状況を評価することとしており、施策の実施状況についても、計画の達成状況の評価を補足する情報として、評価することとします。施策毎の評価指標については、「地域公共交通計画のアップデートガイダンス手順書」（国土交通省）等を参考に、関係機関と協議して設定します。なお、現時点で想定する指標（案）は下記のとおりになります。

方向性	施策メニュー	指標
方向性① 「誰もが移動しやすいまち」を ささえる持続可能な公共交通ネットワークの構築	1-1.路線バスの維持・確保	路線バス（既存 4 社）の運転者数 市内線の利用者数
	1-2.自転車利用環境の充実	シェアサイクルポート数
	1-3.地域の特性に応じた地域内交通の充実	真和志地域乗合タクシーの乗合率
	1-4.基幹的公共交通（LRT）の導入	整備計画の策定
方向性② 広域的な公共交通ネットワークの連携	2-1.広域交通との連携	他市町村への公共交通での通勤通学者の割合
	2-2.モノレール輸送力増強	モノレールの車内のすき具合の満足度 導入車両数
方向性③ 公共交通の利用環境の向上等による利用促進	3-1.路線バスの利用環境向上	バス停上屋の設置箇所数
		運行情報のわかりやすさ（市内線・市外線）の満足度
		市内線の利用者数[再掲]
	3-2.交通 DX の推進	観光客の公共交通利用率（路線バス・モノレール）
		路線バスのクレジット決済機導入割合
	3-3.モノレール利用環境の向上	モノレールの全体的な満足度
		モノレールの利用者数
3-4.タクシーの利用環境の向上	タクシーの台数（協会加盟の南部支部の車両数）	
	タクシーの利用者数	
方向性④ 様々なステークホルダーとの協働による交通まちづくり	4-1.モビリティ・マネジメントの実施	地域公共交通の満足度
		実施回数（那覇市）
	4-2.様々な交通手段との連携	ふくちゃん号の利用者数

評価指標の達成状況は、以下の方法で把握が考えられます。

施策	評価指標	評価年度						把握手法
		2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	2027 (R9) 年度	2028 (R10) 年度	2029 (R11) 年度	2030 (R12) 年度	
1-1.路線バスの維持・確保	路線バス（既存4社）の運転者数	●	●	●	●	●	●	運輸要覧
	市内線の利用者数	●	●	●	●	●	●	那覇市統計書
1-2.自転車利用環境の充実	シェアサイクルポート数	●	●	●	●	●	●	事業者提供資料
1-3.地域の特性に応じた地域内交通の充実	真和志地域乗合タクシーの乗合率	●	●	●	●	●	●	事業者提供資料
1-4.基幹的公共交通（LRT）の導入	整備計画の策定	●	●	●	●	●	●	実績
2-1.広域交通との連携	他市町村への公共交通での通勤通学者の割合	●					●	国勢調査（公表は調査から約2年後）
2-2.モノレール輸送力増強	モノレールの車内のすき具合の満足度		●		●		●	市民アンケート
	導入車両数	●	●	●	●	●	●	事業者提供資料
3-1.路線バスの利用環境向上	バス停上屋の設置箇所数	●	●	●	●	●	●	実績値
	運行情報のわかりやすさ（市内線・市外線）の満足度		●		●		●	市民アンケート
	市内線の利用者数	●	●	●	●	●	●	那覇市統計書
3-2.交通DXの推進	観光客の公共交通利用率（路線バス・モノレール）	●	●	●	●	●	●	那覇市の観光統計
	路線バスのクレジット決済機導入割合	●	●	●	●	●	●	バス事業者ヒアリング
3-3.モノレール利用環境の向上	モノレールの全体的な満足度		●		●		●	市民アンケート
	モノレールの利用者数	●	●	●	●	●	●	那覇市統計書
3-4.タクシーの利用環境の向上	タクシーの台数（協会加盟の南部支部の車両数）	●	●	●	●	●	●	沖縄県ハイヤー・タクシー協会HP
	タクシーの利用者数	●	●	●	●	●	●	運輸要覧
4-1.モビリティ・マネジメントの実施	地域公共交通の満足度	●		●		●		市民意識調査
	実施回数（那覇市）	●	●	●	●	●	●	実績値
4-2.様々な交通手段との連携	ふくちゃん号の利用者数	●	●	●	●	●	●	実績値